

岩見沢操車場跡/岩見沢市



～北海道近代化を担った鉄道の要所～

岩見沢操車場は、1922（大正11）年に建設が始まった貨車操車場で、1926（大正15）年には5線群からなる操車場が完成し平均1,617両/日（現車）を操車するに至りました。

操車能力は、1953（昭和28）年～1957（昭和32）年の改良工事で1,800両/日に1959（昭和34）年～1962（昭和37）年の志文～岩見沢間増線など第2期改良工事で2,500両/日に増強されました。

函館本線・室蘭本線の着発が平面で支障しないよう完全抱き込み式操車場とすべく計画されておりましたが、工事が進捗するにつれ貨物輸送量、特に石炭輸送が減少したため計画は未遂に終わりました。

1968（昭和43）年の函館本線小樽～滝川間電化開業に合わせて、岩見沢第二機関区が開設されましたが、石炭貨物輸送と電気機関車牽引列車の廃止により1994（平成6）年に廃止されました。

住所	岩見沢市大和町 1条1丁目～8丁目、同2条2丁目・3条3丁目・4条4丁目・4条7丁目
公開状況	公開
アクセス (自動車)	札幌から約36km 約25分 【道央自動車道 岩見沢IC降 約5分】
アクセス (公共交通機関)	札幌から約40分 JR函館本線 岩見沢駅降車～徒歩 約15分
問い合わせ	岩見沢市企画財政部企画室企画調整係 電話：0126-23-4111